

	指標の概要							
3	指標名	()						
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要							
4	指標名	()						
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要							
5	指標名	()						
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要							

コストの推移						
項目			平成29年度 (決算)	平成30年度 (決算)	令和 1年度 (当初)	令和 2年度 (当初)
財源内訳	国庫支出金	(千円)	0	0	0	0
	県支出金	(千円)	0	0	0	0
	地方債	(千円)	0	0	0	0
	その他	(千円)	26,630	19,569	30,000	0
	一般財源	(千円)	122,265	117,271	132,210	0
事業費計		(千円)	148,895	136,840	162,210	0
人件費内訳	正職員	従事割合 (人)	1.00	1.00		
		時間外勤務 (時間)	180.00	180.00		
	臨時職員等	(有無)	無	無		
人件費		(千円)	7,562	7,504		
事業コスト		(千円)	156,457	144,344		

R01年度当初積算根拠	報酬：消防団員報酬 46,393千円 報償費：消防団員退職金等 30,316千円 旅費：災害出場手当等 40,455千円 交際費：団長交際費 200千円 需用費：活動服・防火服等 9,319千円 役務費：消防団メール使用料・福祉共済掛金等 3,999千円 委託料：消防団員健康診断委託料 1,040千円 使用料及び賃借料：無線機電波利用・テントレンタル 436千円 備品購入費：消防用ホース・消防用水槽内袋 981千円 負担金補助及び交付金：各負担金 29,071千円
-------------	---

予算の方向性	理由
維持	

方向性		
市民ニーズ	3	今後も一定の市民ニーズが見込まれる。
市民ニーズと今後の見込み		
進捗状況	4	計画通りに進めることができた。
事業が計画的に進んでいるか		
市の関与	3	法令等により、市の実施が定められている。
行政が関与する必要性について		
優先度	-	法令等により、市の実施が定められている。又は、今年度で事業が終了する。
事業の優先度はどうか		

平成30年度 事務事業マネジメントシート

事業の基本情報										
事務事業名	909 消防技術向上事業（各種訓練・操法大会）									
戦略プラン					担当部課	消防本部地域消防課				
総合戦略					係名	消防団係				
					新規・継続	継続				
					事業分類	法定＋任意				
予算科目	01-090102-11 非常備消防運営に要する経費				市民参加	<input type="checkbox"/> 共有、理解				
要求区分		事業期間				<input type="checkbox"/> 企画・立案、計画				
個別計画						<input type="checkbox"/> 実行				
根拠法令	消防組織法				事業体制	職員のみ				
					市長公約					
概要										
事業の目的					事業の概要					
団員としての基礎知識を習得させ、活動時の迅速かつ安全で正確な動作を身につけるため。					<ul style="list-style-type: none"> ・新分団長及び入団3年未満団員訓練（本部役員の指導） ・幹部団員訓練（本部役員の指導） ・消防ポンプ操法競技大会参加 ・秋季点検（各分団詰所及び機械器具の点検等） ・応急手当指導員認定講習及び応急救護訓練を実施（普通救命講習を受講） ・消防団出初式において、訓示、表彰状等の授与、消防団車両による観閲式を実施 					
評価										
事業計画					活動実績					
<ul style="list-style-type: none"> ・新分団長、3年未満団員訓練（5月 約150人） ・幹部訓練（6月 約250人） ・ポンプ操法訓練（5月～10月 3,240人） ・ポンプ操法競技大会（10月 約120人） ・秋季点検・各支団別訓練（11月 約1,000人） ・応急救護訓練（通年 約150人） ・女性支団救急講習会指導（通年 300人） ・出初式（1月 約1,000名） 					<ul style="list-style-type: none"> ・新分団長及び入団3年未満団員訓練（5月 117人参加） ・幹部団員訓練（6月 206人参加） ・ポンプ操法訓練（5月～10月 3,112人参加） ・ポンプ操法競技大会（10月 約120人参加） ・秋季点検・各支団別訓練（11月・通年 約1,000人参加） ・応急救護訓練を実施（通年 124人参加） ・女性支団による応急救護指導（通年 103回 延べ263人参加） ・出初式開催（H31年1月14日 約1,000人参加） 					
成果					課題					
事業計画に基づき、各種訓練を実施したことで、消防団員として必要な技術を習得することができた。										
改善目標（R01年度にむけて）										
指標の推移										
1	指標名	訓練参加者数					(人)		活動指標	
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度		
	目標値	5,400.0	5,070.0	5,070.0	5,070.0	6,070.0	6,070.0	6,070.0		
	実績	4,915.0	4,930.0	5,157.0	5,059.0	5,643.0	0.0	0.0		
	指標の概要	新分団長及び入団3年未満団員訓練、幹部団員訓練、消防ポンプ操法競技大会、秋季点検、救急講習会指導員認定講習及び応急救護訓練、出初式								
2	指標名						()			
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度		
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		

	指標の概要							
3	指標名	()						
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要							
4	指標名	()						
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要							
5	指標名	()						
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要							

コストの推移						
項目			平成29年度 (決算)	平成30年度 (決算)	令和 1年度 (当初)	令和 2年度 (当初)
財源内訳	国庫支出金	(千円)	0	0	0	0
	県支出金	(千円)	0	0	0	0
	地方債	(千円)	0	0	0	0
	その他	(千円)	0	0	0	0
	一般財源	(千円)	12,020	14,192	14,959	0
事業費計		(千円)	12,020	14,192	14,959	0
人件費内訳	正職員	従事割合 (人)	1.00	1.50		
		時間外勤務 (時間)	500.00	560.00		
	臨時職員等	(有無)	無	無		
人件費		(千円)	8,369	11,976		
事業コスト		(千円)	20,389	26,168		

R01年度当初積算根拠	報償費：出初式記念品等 545千円					
	旅費：訓練手当 13,463千円					
	需用費：訓練用品・出初準備品等 951千円					

予算の方向性	理由
維持	

方向性		
市民ニーズ	3	今後も一定の市民ニーズが見込まれる。
市民ニーズと今後の見込み		
進捗状況	4	計画通りに進めることができた。
事業が計画的に進んでいるか		
市の関与	2	今後も市が実施するほうがよい。
行政が関与する必要性について		
優先度	2	継続して実施する必要がある。
事業の優先度はどうか		

	指標の概要							
3	指標名	()						
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要							
4	指標名	()						
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要							
5	指標名	()						
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要							

コストの推移						
項目			平成29年度 (決算)	平成30年度 (決算)	令和 1年度 (当初)	令和 2年度 (当初)
財源内訳	国庫支出金	(千円)	0	0	0	0
	県支出金	(千円)	0	0	0	0
	地方債	(千円)	0	0	0	0
	その他	(千円)	0	0	0	0
	一般財源	(千円)	646	648	720	0
事業費計		(千円)	646	648	720	0
人件費内訳	正職員	従事割合 (人)	0.20	0.20		
		時間外勤務 (時間)	0.00	0.00		
	臨時職員等	(有無)	無	無		
人件費		(千円)	1,422	1,412		
事業コスト		(千円)	2,068	2,060		

R01 年度当初積算根拠	補助金：自営消防団運営補助金 720千円					
-----------------	----------------------	--	--	--	--	--

予算の方向性	理由
維持	

方向性	
市民ニーズ	3 今後も一定の市民ニーズが見込まれる。
市民ニーズと今後の見込み	
進捗状況	4 計画通りに進めることができた。
事業が計画的に進んでいるか	
市の関与	2 今後も市が実施するほうがよい。
行政が関与する必要性について	
優先度	2 継続して実施する必要がある。
事業の優先度はどうか	

	指標の概要							
3	指標名	()						
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要							
4	指標名	()						
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要							
5	指標名	()						
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要							

コストの推移						
項目			平成29年度 (決算)	平成30年度 (決算)	令和 1年度 (当初)	令和 2年度 (当初)
財源内訳	国庫支出金	(千円)	0	0	0	0
	県支出金	(千円)	0	0	0	0
	地方債	(千円)	15,600	7,600	0	0
	その他	(千円)	0	0	0	0
	一般財源	(千円)	25,319	37,251	77,006	0
事業費計		(千円)	40,919	44,851	77,006	0
人件費内訳	正職員	従事割合 (人)	1.00	1.00		
		時間外勤務 (時間)	0.00	0.00		
	臨時職員等	(有無)	無	無		
人件費		(千円)	7,107	7,057		
事業コスト		(千円)	48,026	51,908		

R01年度当初積算根拠	需用費：水利標識等 108千円 委託料：飲料水兼用防火水槽清掃委託 537千円 耐震性貯水槽設計委託料 994千円 土木工事：防火水槽改修工事 16,146千円 耐震性貯水槽建設工事 19,008千円 備品購入費：消火栓BOX等 108千円 負担金：消火栓維持管理費負担金 9,250千円 消火栓新設工事負担金 27,225千円					

予算の方向性	理由	消防水利の充足率の向上を図るため、さらに整備を進める。
拡充		

方向性		
市民ニーズ	3	今後も一定の市民ニーズが見込まれる。
市民ニーズと今後の見込み		
進捗状況	4	計画通りに進めることができた。
事業が計画的に進んでいるか		
市の関与	3	法令等により、市の実施が定められている。
行政が関与する必要性について		
優先度	-	法令等により、市の実施が定められている。又は、今年度で事業が終了する。
事業の優先度はどうか		

平成30年度 事務事業マネジメントシート

事業の基本情報										
事務事業名	912 消防施設維持整備事業(車庫・詰所等)									
戦略プラン					担当部課 係名	消防本部地域消防課 施設係				
総合戦略					新規・継続	継続				
					事業分類	任意的事務				
予算科目	01-090103-13 非常備消防施設に要する経費				市民参加	<input type="checkbox"/> 共有、理解				
要求区分		事業期間				<input type="checkbox"/> 企画・立案、計画				
個別計画						<input type="checkbox"/> 実行				
根拠法令					事業体制	一部委託				
					市長公約					
概要										
事業の目的					事業の概要					
地域の災害活動等を行う消防団車両の保管場所及び分団員の災害対策拠点となる詰所等の良好な施設環境を確保する。					経年劣化に伴い、老朽化の著しい車庫及び詰所の改築及び維持管理を行う。					
評価										
事業計画					活動実績					
<ul style="list-style-type: none"> 消防団車両車庫兼詰所改築工事：1箇所（豊里第1分団：上郷地区） 消防団車両車庫兼詰所改築工事設計委託：1箇所（豊里第2分団：上郷地区） 					<ul style="list-style-type: none"> 消防団車両車庫兼詰所改築工事を実施：1箇所（豊里第1分団：上郷地区 3月完成） 消防団車両車庫兼詰所改築工事設計委託：1箇所（豊里第2分団：上郷地区 2月契約、H31完了予定） 					
成果					課題					
災害時の拠点となる施設を建設することができ、良好な施設の維持管理にもつながった。					入札不調により計画に基づいた建設が出来ない。					
改善目標（R01年度にむけて）										
計画に基づいた建設を実施する。										
指標の推移										
1	指標名	消防車両車庫兼詰所建築数					(棟)		活動指標	
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度		
	目標値	2.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0		
	実績	2.0	1.0	1.0	1.0	1.0	0.0	0.0		
	指標の概要									
2	指標名						()			
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度		
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		

	指標の概要							
3	指標名	()						
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要							
4	指標名	()						
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要							
5	指標名	()						
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要							

コストの推移						
項目			平成29年度 (決算)	平成30年度 (決算)	令和 1年度 (当初)	令和 2年度 (当初)
財源内訳	国庫支出金	(千円)	0	0	0	0
	県支出金	(千円)	0	0	0	0
	地方債	(千円)	0	27,600	0	0
	その他	(千円)	0	0	0	0
	一般財源	(千円)	20,687	14,733	20,967	0
事業費計		(千円)	20,687	42,333	20,967	0
人件費内訳	正職員	従事割合 (人)	0.50	0.50		
		時間外勤務 (時間)	0.00	0.00		
	臨時職員等	(有無)	無	無		
人件費		(千円)	3,554	3,529		
事業コスト		(千円)	24,241	45,862		

R01年度当初積算根拠	需用費：現場作業用消耗品 56千円 光熱水費：電気料・上水道使用料等 4,232千円 修繕料：施設修繕料 1,804千円 役務費：携帯電話料等 486千円 委託料：空家住宅解体設計委託料 253千円 使用料及び賃借料：土地賃借料 465千円 工事請負費：ホース乾燥塔建築工事 1,296千円 消防施設改修工事 3,705千円 消防施設解体撤去工事 8,470千円 補助金：消防用施設整備補助金 200千円
-------------	---

予算の方向性	理由
維持	

方向性	
市民ニーズ	3 今後も一定の市民ニーズが見込まれる。
市民ニーズと今後の見込み	
進捗状況	4 計画通りに進めることができた。
事業が計画的に進んでいるか	
市の関与	2 今後も市が実施するほうがよい。
行政が関与する必要性について	
優先度	2 継続して実施する必要がある。
事業の優先度はどうか	

	指標の概要							
3	指標名	()						
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要							
4	指標名	()						
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要							
5	指標名	()						
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要							

コストの推移

項目			平成29年度 (決算)	平成30年度 (決算)	令和 1年度 (当初)	令和 2年度 (当初)
財源内訳	国庫支出金	(千円)	0	0	0	0
	県支出金	(千円)	0	0	0	0
	地方債	(千円)	30,500	31,400	0	0
	その他	(千円)	0	0	0	0
	一般財源	(千円)	12,458	15,224	47,335	0
事業費計		(千円)	42,958	46,624	47,335	0
人件費内訳	正職員	従事割合 (人)	0.50	0.50		
		時間外勤務 (時間)	0.00	0.00		
	臨時職員等	(有無)	無	無		
人件費		(千円)	3,554	3,529		
事業コスト		(千円)	46,512	50,153		

R01年度当初積算根拠
 旅費：中間検査（往復運賃33,150円＋宿泊費12,000円）×1人＝45,150円
 需用費：@自動車用消耗品 175千円 @燃料費 1,339千円
 修繕料：@公用車修繕料 1,638千円
 @車検整備料等 5,436千円
 役務費：自賠償保険料等 1,309千円
 備品購入費：消防ポンプ車2台 35420千円
 発電機1台 152千円
 公課費：自動車重量税等 1,820千円

予算の方向性	理由
維持	

方向性		
市民ニーズ	3	今後も一定の市民ニーズが見込まれる。
市民ニーズと今後の見込み		
進捗状況	4	計画通りに進めることができた。
事業が計画的に進んでいるか		
市の関与	2	今後も市が実施するほうがよい。
行政が関与する必要性について		
優先度	2	継続して実施する必要がある。
事業の優先度はどうか		

平成30年度 事務事業マネジメントシート

事業の基本情報									
事務事業名	914 水防訓練(水害対策) 事業								
戦略プラン					担当部課 係名	消防本部地域消防課 消防団係			
総合戦略					新規・継続	継続			
					事業分類	法定+任意			
予算科目	01-090104-11 水防訓練に要する経費			市民参加	<input type="checkbox"/> 共有、理解				
要求区分		事業期間			<input type="checkbox"/> 企画・立案、計画				
個別計画					<input type="checkbox"/> 実行				
根拠法令	水防法			事業体制	職員のみ				
					市長公約				
概要									
事業の目的				事業の概要					
水防活動において、消防団員が安全に迅速かつ確かな行動がとれるようにする。				・水防訓練への参加及び水防団体との連絡調整を行う。					
評価									
事業計画				活動実績					
<ul style="list-style-type: none"> 利根川水系県南水防事務組合、稲敷地方広域市町村圏事務組合・常総地方広域市町村圏事務組合の三組合による水防訓練に参加（5月に取手市で実施予定） 鬼怒・小貝水防連合体水防訓練に参加（7月に下妻市で実施予定） 				<ul style="list-style-type: none"> 利根川水系県南水防事務組合、稲敷地方広域市町村圏事務組合、常総地方広域市町村圏事務組合の三組合による合同水防訓練が、5月27日に取手市で実施し、桜・茎崎支団（38名）が参加 鬼怒・小貝水防連合体水防訓練が、7月1日に下妻市で実施し、大穂・谷田部・筑波支団（58名）が参加 					
成果				課題					
2つの水防訓練に参加し、各種水防工法の技術を習得したことにより、水防団として士気の向上及び消防力の強化に繋がった。				水防訓練は、すべての団員が参加できないため、参加できない団員を対象として、勉強会等を開催し全団員へ水防工法等の知識を伝えていく必要がある。					
改善目標（R01年度にむけて）									
各支団役員会等で、各分団の訓練経験者による勉強会を、継続して実施するように依頼する。									
指標の推移									
1	指標名	訓練参加者数					(人)		活動指標
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度	
	目標値	80.0	80.0	80.0	80.0	80.0	80.0	80.0	
	実績	66.0	182.0	160.0	95.0	96.0	0.0	0.0	
	指標の概要	利根川水系県南水防事務組合水防訓練、鬼怒・小貝水防連合体水防訓練							
2	指標名						()		
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度	
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	

	指標の概要							
3	指標名	()						
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要							
4	指標名	()						
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要							
5	指標名	()						
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要							

コストの推移						
項目			平成29年度 (決算)	平成30年度 (決算)	令和 1年度 (当初)	令和 2年度 (当初)
財源内訳	国庫支出金	(千円)	0	0	0	0
	県支出金	(千円)	0	0	0	0
	地方債	(千円)	0	0	0	0
	その他	(千円)	0	0	0	0
	一般財源	(千円)	2,678	2,000	2,493	0
事業費計		(千円)	2,678	2,000	2,493	0
人件費内訳	正職員	従事割合 (人)	0.30	0.30		
		時間外勤務 (時間)	10.00	10.00		
	臨時職員等	(有無)	無	無		
人件費		(千円)	2,159	2,143		
事業コスト		(千円)	4,837	4,143		

R01年度当初積算根拠	旅費 水防活動手当 300千円					
	需用費 水防用消耗品等 193千円					
	使用料及び賃借料 訓練時バス賃借料 292千円					
	原材料費 土嚢用砂 81千円					
	負担金補助及び交付金 鬼怒小貝・利根川水防負担金 1,627千円					

予算の方向性	理由
維持	

方向性		
市民ニーズ	3	今後も一定の市民ニーズが見込まれる。
市民ニーズと今後の見込み		
進捗状況	4	計画通りに進めることができた。
事業が計画的に進んでいるか		
市の関与	2	今後も市が実施するほうがよい。
行政が関与する必要性について		
優先度	2	継続して実施する必要がある。
事業の優先度はどうか		